

(様式1)

視 察 報 告 書

平成28年6月16日

鳥取市議会議長 様

鳥取市議会 総務企画委員会
委員長 山田 延孝



本委員会は、下記により委員を派遣し、行政視察（調査）したので、その結果を報告します。

記

1 期 間	平成28年4月20日から平成28年4月22日
2 派遣先	広島県福山市 愛媛県松山市 香川県高松市
3 視察内容 (調査)	広島県福山市 ・連携中枢都市圏形成について 愛媛県松山市 ・選挙コンシェルジュについて 香川県高松市 ・地域コミュニティについて
4 派遣委員 の氏名	山田 延孝 委員長 桑田 達也 副委員長 吉野 恭介 委員 西村紳一郎 委員 橋尾 泰博 委員 吉田 博幸 委員 角谷 敏男 委員 下村 佳弘 委員
5 委員会 所見	別添のとおり
6 参加者 所見	別紙のとおり

(別添)

視 察 先	広島県福山市
調査項目	連携中枢都市圏形成について
(所見)	<p>備後圏域連携中枢都市圏は、福山市を中心に山陽地域の特徴である大企業の立地による特性を生かしたものである。圏域の地域資源を活用した取り組みを進め、びんご産品首都圏マッチング事業・地域おこし協力隊の広域連携事業など備後の魅力をまるごと発信事業に力をいれている。現状を把握し産学金官民一体となった組織連携は細やかだった。</p> <p>圏域が目指す将来像は、自治体ごとに方向性を明確にしておく必要がある。本市においても県東部圏域のみならず、但馬圏域を巻き込み、連携中枢都市圏構想の推進をすべきだと感じた。</p>
視 察 先	愛媛県松山市
調査項目	選挙コンシェルジュについて
(所見)	<p>若年層の投票率をいかに高めに行くかは各自治体の課題であり、全国で啓発活動が推進されている。松山市は大学生自身が同世代の若者にどうすれば投票に行くのか考える仕組みとして「選挙コンシェルジュ」の取り組みを行っており、本市においても大いに参考になるものだった。</p> <p>また松山市では大学内に期日前投票所を設置し若年層の投票率向上に向け取り組んでいるが、住民票を移していない学生が多い現実があるとのことだった。本市も大学内期日前投票所の設置に向け、この点をよく確認すべきである。</p> <p>若年層への選挙啓発については、学校との連携が特に重要であり、学生の自主性を尊重した取り組みは本市においても非常に参考になった。</p>
視 察 先	香川県高松市
調査項目	地域コミュニティについて
(所見)	<p>高松市は小学校 44 校区毎に地域コミュニティを形成し、地域格差をそれぞれの特性と位置付けることで、住民の生活環境に応じた施策をめざしている。本市の各地区公民館に設置した「まちづくり協議会」と同じような取り組みであるが、職員と「地域コミュニティ協議会」とのかかわりをより重要視しており、この点は注目すべきである。</p> <p>本市も地域活動の担い手不足など様々な問題が表面化しており、地縁型コミュニティから、自分たちで解決する創造的協働型のコミュニティの創出を進めなければならない。今後のコミュニティ形成のあり方を多方面から検証する必要がある。</p>